

中京テレビ放送、東京工業大学、慶応義塾大学、名古屋大学、福井大学は共同で、NICT(独立行政法人 情報通信研究機構)の高度通信・放送研究開発委託研究

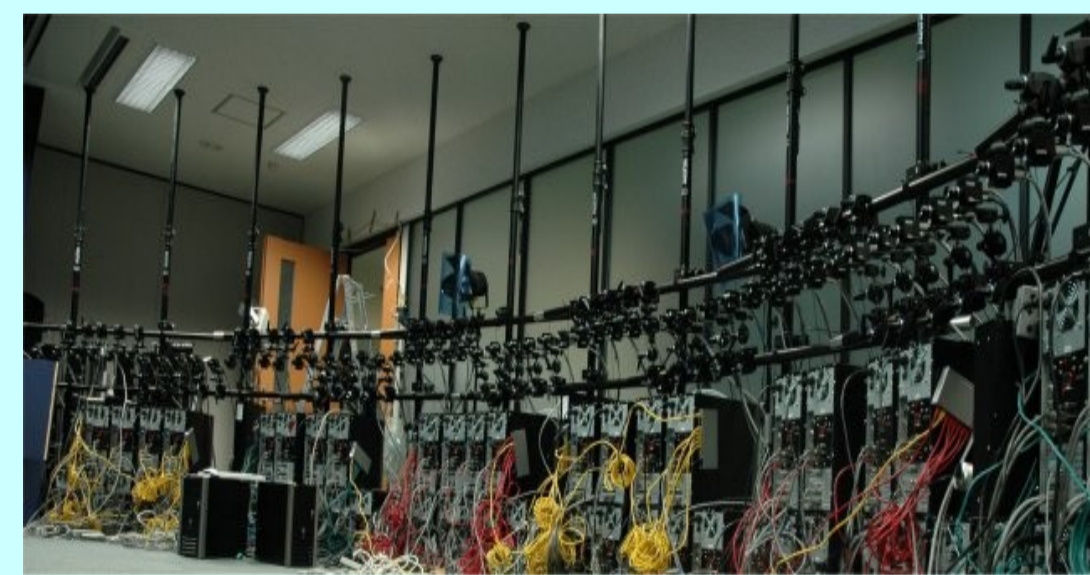
「革新的な三次元映像技術による超臨場感コミュニケーション技術の研究開発」により、カメラ数十台を使った三次元映像(多視点映像・自由視点映像)の研究を進めています。

今までは膨大な処理時間と作業コストが必要であった、「多視点映像撮影や処理」をより早く、より簡単に実現できるよう、専用のツールやシステムを開発します。



<展示内容-1> 多視点映像撮影システム (中京テレビ, 東工大)

カメラ複数台を駆使して撮影するこれらの映像制作では、いかにカメラを配置するかは勿論、カメラの同期制御、ファイル収集などがシステム構築上の鍵となります。今回はカシオ計算機のハイスピードカメラEX-F1を10台、同時撮影する簡易デモを展示しています。



<展示内容-2> 多視点撮影を活用したコンテンツ制作例

ものづくりに欠かせない技能の伝承・巧の技など紹介するためカメラ16台秒300コマの高速撮影による映画「マトリクス」並みの映像製作の研究 (総務省SCOPEプロジェクト, 名古屋大, 福井大, 中京テレビ)
「多視点映像による技能コンテンツ制作・提示技術の研究」(082306005)より



<展示内容-3> サッカーの多視点撮影、補間画像制作

サッカーの試合をカメラ8台による撮影動画から、240コマのタイムスライス映像を補間計算し、合成表示 (慶応大学, 中京テレビ, 他)
撮影された映像から選手と背景を切り分け、それぞれ別の処理を与えることにより、カメラ間の距離が精密に測れなくても三次元画像の生成が可能。

